

おもしろそうな本を見つけました。
題して「議会の取扱い説明書」＝トリセツ

先日、刈谷市で開催された研修会。
市民と議会のギャップの大きさ、というか、
議会の常識＝世間の非常識とは、よく言われる言葉ですが、
それを嘆いているばかりじゃダメなんで、
どうしたら、それを埋められるか…という分科会に参加したのです。

講師は、町田市のNPOの女性。
市民運動をしていると、行政に働きかけが必要なことが出てきます。
これは必然。
働きかけは、職員に話すレベルから、市長に直接までさまざまでしょうけど、
「議会に働きかける」、これですよ。
陳情、請願…方式は、いろいろありますが、
「そもそも、議会って、何やってるとこ??」
「うーん、よく判らん…」というのがほとんどではないか?!
そこで、
町田版の「議会って何?」という解説ハンドブックをつくったとのこと。

議会の「本来あるべき姿」が書いてあります。
2冊買って、今、回覧中ですが、さっそく大向こうから声が掛かりました。
「襟を正して読まなくちゃ…」というのは誰?」